

# 3月26日 (木) DAY1 ポイント

## 飛行機

フィリピン航空を利用します。約4時間であつという間に到着。  
セブ線に関しては、機内に備え付けのエンターテインメントがありません。  
映画をダウンロードし、携帯やタブレットに保存したり、ゲームや読書等、時間を過ごせる準備があれば、機内で有意義に過ごせます。  
また機内は寒い場合もありますので、フリースやセーターなど防寒服を準備しておいてください。



## 宿泊ホテル情報

ホテル名：東横INNセブ

Jcentre Mall, 165 A.S. Fortuna St., Bakilid, Mandaue City, Cebu  
6014 Philippines

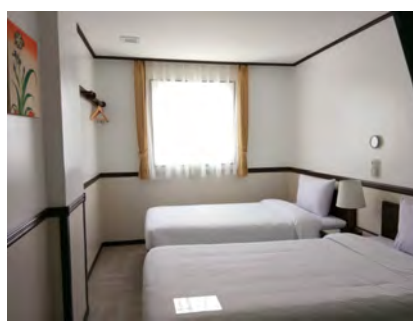
TEL +63-(0)32-255-1045 FAX +63-(0)32-255-1046

※セブ空港からホテルまで車で約30分

※ツインルーム使用予定 (1,100mm幅のベッド2台、16.66㎡、定員2名)

## 客室設備・アメニティ

- ・Wi-Fi・有線LAN・セーフティBOX・冷蔵庫・歯磨きセット
- ・ドライヤー・バスタオル・タオル・ボディーソープ
- ・シャンプー・リンス



# 3月27日(金) DAY2 ポイント

## オリエンテーション内容

ツアー内容についての細かい説明とフィリピン生活情報や滞在中の注意事項を説明します。

NPOの活動に関わることで、貧困問題を抱えるフィリピンの現状を知り、貧困の中でも笑顔の子供たちと接することで“シェアする気持ちの大切さ”や“幸せ”の意味を考えます。

## ボランティア活動の為に英会話レッスン

(今話題のフィリピン人講師の英会話レッスン!)

ボランティア活動に必要な英語の単語や文例などを中心に、フィリピン人との会話ですぐに役立つ表現を楽しく学習します。初心者でもわかるように、よく使うフレーズなど実践的な英語を学びます。フレンドリーで親日のフィリピン人講師が優しく丁寧に教えてくれます。

## 交流会準備

3日目と5日目の交流会（誰でもヒーローで支援を受けている子供たちとの交流会や、離島の子どもたちと英語を使つての交流会）の準備をします。交流会にはフィリピン人の小学生から高校生まで約30人参加します。ツアー参加者がみんなで考えて、様々な出し物も準備します。英語が苦手でも日本人スタッフがフォローしますので安心してください。

## ジョリビー



フィリピンの国民食とも呼ばれるファーストフードと言えば「ジョリビー(Jollibee)」。フィリピンではマクドナルドより店舗数が多く、いつも大行列。フィリピンに行けば一度は体験しておきたいお店です。

## ショッピング

ホテルから最寄りのモールでショッピングができます。現地の雰囲気、フィリピン人の生活スタイルを感じ取ります。日本にはなかなか売っていない食べ物にも、この機会に是非チャレンジしましょう。ドライマンゴーなどのお土産、お菓子やTシャツなども購入できます。

# 3月28日(土) DAY3 ポイント

## DAREDEMO HERO活動内容紹介

DAREDEMO HEROの主な活動は、フィリピンの貧困層の子どもたちに対して、教育支援を行い、貧困問題の解決に寄与することを目的としています。セブ島で支援活動を行っている日本人スタッフから、設立から現在の支援活動に至るまで、日本語で丁寧に説明していただきます。

## 子どもたちと交流

前日に準備した自己紹介やゲーム等で、フィリピンの子供たちと楽しい時間を過ごします。

学んだ英語を使って、実際に交流することで、道具としての英語を感じとることができます。フィリピン人は写真を撮るのが大好きなので、いっぱい一緒に写真を撮りましょう。

## 子どもたちの住む貧困地区を視察

誰でもヒーローが支援している子供たちの暮らす家を訪問します。貧困家庭の一般的なお家を見学し、どんな生活を送っているのか実際に見聞し、どのような支援を必要としているのか考えるきっかけにします。

また貧しくとも家族が仲良く寄り添って暮らす姿を見ることで、本当の幸せとは何かについて考えます。

## 一日の振り返り

今日の経験を通して、学んだこと、感じたことなどを振り返ることで、今の様々な現状にもとづいた、地に足のついた「ネクスト・アクション（次にすべき活動）」が可能になります。

また、小グループに分かれて一日の体験で感じた事を共有することで、自分以外の気づきを自分の学びに変えていきます。



# 3月29日(日) DAY4 ポイント

## 市内観光

単なる観光ではありません。NPO法人によって、学びが深まるように作りこまれた「オリジナルワークブック」を使い、しっかり観光地の歴史を学びます。セブはフィリピンのキリスト教のルーツと言われているので、学習要素がいっぱいあります。

ワークブックはクイズ形式なので楽しみながら学びましょう！

## ショッピング

セブで有名なモール（シューマート）で、ショッピングをします。ドライマンゴーなどのお土産やお菓子、Tシャツなども購入できます。両替もできますので必要に応じて行います。

※現地通貨ペソを日本円に再両替する場合のレートが悪いので、少額をこまめに両替するか、使い切る様に心がけて下さい。パスポートは原本を持ち歩かずコピーを持ち歩きましょう。

## 最貧困地区を視察（イナヤワン地域）

セブ市内から車で移動し、ごみ山に暮らす人々の地域を訪れます。どうしてゴミ山に暮らさないといけないのか？どのような生活をしているのか？実際に足を運び、体感しましょう。

炊き出しや物資支給のボランティア活動も行います。

## セブの小ネタ

世界一周をしたと言われているマゼランは、最後はこのセブ島に上陸をして、キリスト教の布教活動を進める中、当時のマクタン島酋長ラプラブと戦争になり、命を落とした。そのため故郷ポルトガルには帰れず、実は世界一周は出来なかったのです。

圧倒的に強い戦力だったスペイン艦隊のマゼランが、どうして小さな島の酋長ラプラブに負けたのでしょうか？その答えは現地で！



# 3月30日(月) DAY5 ポイント

## オランゴ島に向けて出港

マクタン島から30分ほど、バンカーボートで移動したところにある「オランゴ島」の小学校を訪問します。

ホテルからマクタン島の港までは、40-50分ほど専用車で移動します。船の乗り降りの際には、浅瀬を歩く場合もあるので、半ズボンとサンダルの方が良いかもしれません。

この島には、世界的に有名な渡り鳥が羽を休める湿地帯があり、多くの渡り鳥を見る事が出来ます。

また「マングローブ」が植林されていて、高潮などから島を守る取り組みが行われています。野鳥保護の湿地帯も訪問します。

## オランゴ島のバードサンクチュアリー

オランゴ島にある湿地帯は、国際的に水辺の自然生態系の保護を目的とする「ラムサール条約」に指定されている有名な湿地です。ここの野鳥は日本とオーストラリアを移動する際に、この地で骨休めをするのです。



## 島の小学校を訪問

島にある公立小学校を訪ねます。授業を参観したり、簡単なゲームをしたりして交流を図り、お昼ごはんを一緒に食べて親睦を深めます。

他にはフィリピン人の先生に「フィリピンの教育」がどのように行われているかについてもお話しいただきます。

皆さんの興味ある事は全て質問しましょう！

## リバティースユラインで民芸品のお買い物

以前までマクタンシュラインの名称で呼ばれていた観光地。世界一周をしたマゼランや当時のマクタン島の酋長ラプラプのモニュメントがある所。露店が沢山並び、お祭り気分で民芸品の買い物出来る場所です。

# 3月31日(火) DAY6 ポイント

## 太平洋戦争について学習

70年ほど前、かつてフィリピンで戦争がありました。日本とアメリカの軍隊がもっとも激しい戦いを繰り広げたのが、なんとフィリピンです。フィリピンで日本軍は何をしたのか、学校の教科書では学ぶことができない様々なことを学びます。

## スグボ博物館

スグボ博物館には、8つの展示ギャラリーがあり、フィリピンの独立から現在に至る歴史を刻んだ建物と、1000年にも及ぶフィリピンの歴史資料からなる貴重な場所となっています。ガイドブックなどではあまり紹介されていませんが、深くセブについて深く知ることができる興味深い施設となっています。過去の真実を知識にすると同時に、セブやフィリピンのことを正しく認識できます。

## 慰霊碑に献花

太平洋戦争において、セブ島およびその周辺地域で戦死された全ての方々のご冥福と永遠の平和を祈って建てられたセブ観音に献花します。

## セブを見下ろすセブ観音

5つ星ホテルであるマルコポーロプラザホテルから、見下ろせる場所にある「セブITパーク」（現在はセブのビジネスの中心地区）には、戦争当時は軍事飛行場がありました。



実はこの飛行場から、神風特攻隊のゼロ戦が出陣して飛び立ったそうです。毎年終戦記念日には、戦争の記憶が立ち消えないように、セブ観音像の前で終戦記念式がセブ日本人会によって行われています。

# 4月1日(水) DAY7 ポイント

## オプション選択

セブの最終日の思い出に、フリー時間を設けています。ご自由にお楽しみください。※各プランに日本人スタッフがついて案内します

## ホテルプール（無料アクティビティ）

皆さんの宿泊先ホテルに隣接している、Jセンターモールの6階には、Sky Water Parkがあります。東横イン宿泊者は無料でプールの利用ができます。昼食はついていませんが、Jセンターモール内のレストランやファーストフード店等をご利用いただきます。

※詳しくは現地にてご案内します。

## マリンスポーツ（有料アクティビティ）

多数の有名リゾートホテルが位置するマクタン島に移動し、マリンスポーツを楽しみます。ジェットスキーやパラセーリング、アイランドホッピング等をお楽しみいただけます。昼食はついておりませんが、

現地にてレストラン情報等をお伝えします。  
※出発前オリエンテーションにてマリンスポーツの料金や体験できるアクティビティについての詳細をご説明します。

## リゾートホテルディユース（有料アクティビティ）

マクタン島の人気ホテルでのアクティビティを体験します。ホテルのプライベートビーチやプール施設が使える、食べ放題の昼食もついているプランです。ホテル宿泊はできませんが、リゾート気分をご堪能下さい。※出発前オリエンテーションにて詳細をご説明します。

## 修了証書授与式

NPO法人誰でもヒーローから、今回のプログラム修了の証書を発行してもらいます。フィリピン共和国政府観光省西日本支局からの修了証は帰国後の授与となります。

## フェアウェルパーティー（お別れ会）

誰でもヒーローにて、支援している子供たちと最後の思い出に、お別れ会を行います。7日間一緒に過ごした仲間とフィリピン人のお友達との楽しい時間をお過ごしください。

# 4月2日(木) DAY8 ポイント

## ホテルチェックアウト

6時にチェックアウトします。ミニバーの飲み物など個人清算を済ませて、ロビーに時間厳守で集まり下さい。

パスポートや財布などお忘れ物のない様に、早めの準備を心がけて下さい。

朝食をホテルで食べる時間がないので、パックスの朝食を準備します。移動のバス内、もしくは空港でお召し上がりください。

## 空港チェックイン

行きと同様に個人でのチェックインとなりますが、チェックインカウンターではフィリピン共和国政府観光省スタッフが皆さんのチェックインをお手伝いします。

スタッフも同じ飛行機で帰国しますので、安心して下さい！

何かわからない事があればすぐに相談しましょう。



2019年GWに開催された  
スタディーツアーをチェック⇒  
※ツアーイメージとしてご利用下さい





# 現地緊急対応先情報

**【パスポート紛失】※現地スタッフが対応します**

セブ領事事務所 Consular Office of Japan in Cebu

住所：7th Floor Keppel Center Samar Loop cor Cardinal Rosales Avenue, Cebu Business Park, Cebu City Philippines

電話受付時間：月曜日～金曜日08:30 - 12:30及び13:30 - 17:15

電話：(63-32) 231-7321, 231-7322 Fax: (63-32) 231-6843

**【フィリピン政府観光省セブ事務所】※現地公的機関もサポート体制完備**

フィリピン観光省セブオフィス DOT Regional Office VII

住所：Ground Floor, LDM Bldg., cor. Legaspi and MJ Cuenco Sts.,

Cebu電話：(63-32) 412-1980 / 412-1967

**【病院】※日本人スタッフが同行のもと対応します**

セブドクターズホスピタル Cebu Doctors' University Hospital

住所：Osmena Blvd, Cebu City, Cebu 6000 Philippines

診療科目：総合（歯科も含む）

電話：(63-32) -318-6507

※海外傷害保険加入は必須です。エキサイトT&Eより、海外保険のご案内をいたしますが、ご自身でお手配することも可能です。ただし現地病院にてキャッシュレス対応が可能な保険会社をお選び下さい。

**【フィリピン航空セブマクタン空港事務所】※空港とも情報交換を行います**

Philippine Airline

住所：Pre-Terminal Building Mactan Cebu International Airport  
Lapu-Lapu City Cebu 6016

電話：(63-32) 340-9780

## 【ツアー中の対応】

日本側窓口：エキサイトT&E株式会社

現地側窓口：NPO法人DAREDEMO HERO

※ご出発時に緊急24時間電話番号をお伝えします。

# 旅行お申込みに際して

## 【お申し込み方法】

- 1.ご来店⇒エキサイトT&E大阪オフィスへのご来店でお申込みいただけます。
- 2.FAX（24時間受付）⇒申込書をご記入の上ご送信下さい（06-6345-6011）
- 3.郵送⇒エキサイトT&E大阪デスクまでお送り下さい。  
（〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2-5-25 ハービスPLAZA3階）

### 【旅行代金に含まれるもの】

- 1.旅行日程に明示した航空運賃(エコノミークラス)
- 2.旅行日程に含まれる送迎バス等の費用
- 3.旅行日程に明示した観光の料金（バス料金、ガイド料金、入場料等）
- 4.旅行日程に明示した宿泊の料金及び税・サービス料金
- 5.旅行日程に明示した食事の料金及び税・サービス料金（飲物は含まれません）
- 6.航空機による手荷物の運搬料金お1人様スーツケース2個（1個23キロ）
- 7.現地での手荷物運搬料金
- 8.添乗員費用
- 9.出発前事前研修費用、帰国後事後研修費用

### 【旅行代金に含まれないもの】

パンフレットに明示した旅行代金には、前項のほかは含まれません。  
その一部を以下に例示いたします。

- 1.超過手荷物料金（規定の重量・容量・個数を超える分について）
- 2.クリーニング代、電報電話料、追加飲食費用
- 3.渡航手続関係費用（パスポート取得料）
- 4.ご希望者のみ参加されるオプションツアー（アクティビティ）の料金
- 5.日本国内における自宅から発着空港島集合・解散地点までの交通費
- 6.旅行開始前の前日、旅行終了日の当日等の宿泊費
- 7.日本国内の空港施設使用料
- 8.旅行日程中の空港税等（日本国内通行税を含む）
- 9.運送機関の課す付加運賃（航空燃油サーチャージなど）

### 【旅行企画・実施】

実施旅行会社・エキサイトT&E株式会社（観光庁長官登録旅行業第1685号）

後援：フィリピン共和国政府観光省

最少催行人数：10人

利用航空会社：フィリピン航空

添乗員：あり

### 【現地催行担当】

NPO法人 DAREDEMO HERO

住所：800 highway 77 talamban  
cebu city Philippines

電話：032-238-9051（フィリピンから）  
+63-32-238-9051（日本から）

代表：内山順子